

# 秋のオリジ新聞

~Vol.8~

皆さん、こんにちは。10月8日は開院記念日です。早いもので2周年を迎えることができました。これも陰ながら支えて下さる医療関係者の方々そして、いつも応援・励ましの言葉をかけて下さる皆様のお陰です。これからも、皆様が安心して暮らせるような医療を提供していきますので、スタッフ一同宜しくお願い致します。

## 「チームさとし」とは

こんにちは、井上さとし内科を  
ごさいます  
(受付・吉村)

CTの予約  
とれました!  
(受付・杉本)

縫いますか?  
準備します!  
(看護師・田川)

みんな  
頼りに  
します!

今から  
やれますか  
いけますか?  
採血任せて下さい  
(看護師・石井)

院長:井上

訴えは聞きのかしません  
(受付・田雑)

ワクチンの  
予約ですね(受付・井上)

緊急内視鏡  
いけます!  
(看護師・西村)

発熱外来  
行ってます  
(看護師・池田)

お薬は  
お隣であ  
お大事に  
(受付・松田)

みんな、成り立っています。

### やってみるか早口言葉

買った肩叩き機高かった(3回) 一体いくらなん!?

### 編集後記

新メンバー2人が加わり、新しい風が入りクリニックは進化し続けます。😊🌸



〒819-0032 西区戸カ2丁目18-2  
井上さとし内科(092)-894-7007

## ~井上先生聞いて、この悩みを~

Q: インフルエンザワクチンは接種した方がいいですか?  
A: インフルエンザは、インフルエンザウイルスにより引き起こされる急性ウイルス性疾患です。基礎疾患がある方や、小さな子ども達、妊婦・高齢の方は重症になりやすい病気なので、一般の風邪とは違う病気と考えた方がいいと言えます。

**原因**  
感染経路  
インフルエンザに感染した人の咳やくしゃみを吸い込む飛沫感染  
ウイルスが付着した服などに触れる接触感染  
季節性インフルエンザ→A型・B型・C型の3種  
新型インフルエンザ→季節性インフルエンザと抗原性が異なる  
(2009年・世界中に猛威をふるった)



一度かかっても同じ年にも違うインフルエンザウイルスに感染することがある

**症状** 1~2日程度の短い潜伏期間の後に発症  
悪寒戦慄・急激な高熱・筋肉痛・関節痛・同時に咳や鼻汁などの上気道症状出現  
一般的に38度以上の高熱が持続した後に解熱傾向に向かう

一度解熱してから再度発熱する「2峰性発熱」と呼ばれる熱型があった場合 → インフルエンザの経過なのか合併症なのか判断が必要!

**合併症** 肺炎や脳症がある  
①発熱の期間が長びく(5日~7日以上続く)  
②咳がひどくなり苦しくなる  
③意識状態がおかしく痙攣を起こす  
ECMO(イクモ)を用いた呼吸管理が必要になることもある

**検査・診断** 診断には迅速キットを使用し10~15分で判明。同時に合併症の有無も検査することがある  
①肺炎...胸部単純レントゲン検査・胸部CT撮影  
②脳症...脳液検査・MRI検査

**治療** 治療薬には内服薬・吸入薬・点滴薬がある。発症後48時間以内に開始すると高い効果が期待出来、年齢・全身状態・重症度によって選択される  
もちろん、十分な睡眠と休養をとり、脱水にならないように水分補給をすること!

**予防** 手洗い・うがい・マスク着用・帰宅後の顔を洗うなどに気をつける  
※ ワクチン接種を受けることは、重症化を防ぐための方法の一つである  
9月に入り、インフルエンザ感染者が出ています。コロナ症状と似ています。コロナ検査陰性の場合、インフルエンザの検査をお勧めします。